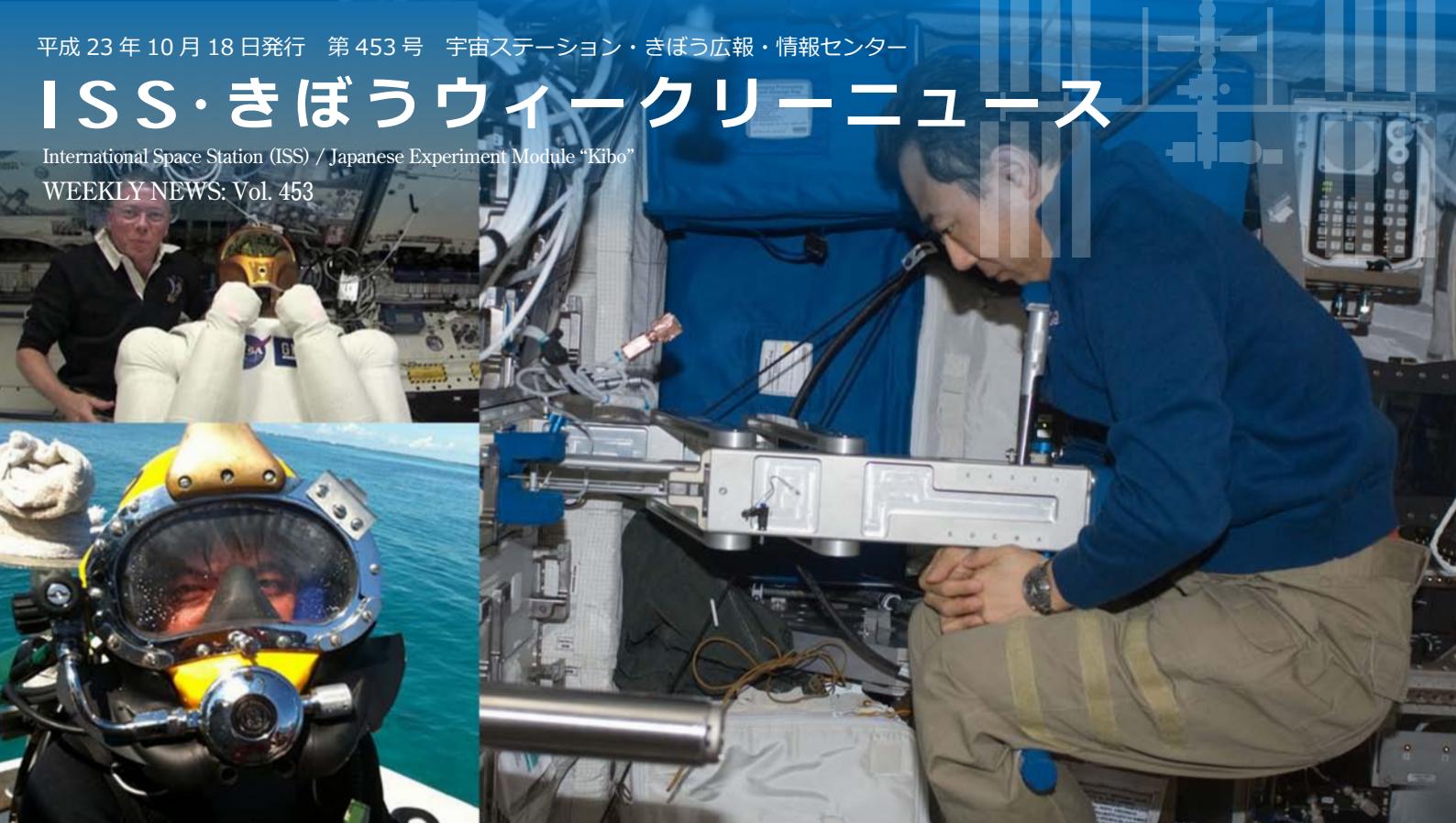


ISS・きぼう ウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 453



(右)「コロンバス」(欧州実験棟)で体重測定を行う古川宇宙飛行士 (左上) フォッサム宇宙飛行士とロボノート 2 (左下) NEEMO15 訓練に向けた準備として、潜水マスクを装着してダイビング訓練を行う大西宇宙飛行士 (すべて出典: JAXA/NASA)

今週の ISS と 古川宇宙飛行士



最初の ISS 構成要素打上げから 4715 日経過

古川宇宙飛行士は MSPR の初期動作確認や R2 に関する作業などを実施

国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在中の第 29 次長期滞在クルーは、3 名体制での ISS 運用に忙しい日々を過ごしました。古川宇宙飛行士は、多目的実験ラック (MSPR) の初期動作確認など「きぼう」日本実験棟に関する作業や、米国や欧州の実験に関する作業などを行いました。

10 月 13 日、古川宇宙飛行士は、フォッサム宇宙飛行士とともに「デスティニー」(米国実験棟)でロボノート 2 (R2) の動作確認を実施しました。R2 はクルーの作

業負荷の軽減を目的とした米国人型ロボットで、ISS 船内の簡単なメンテナンス作業などを行うことができます。

古川宇宙飛行士らは、R2 を保管バッグから取り出して組み立て、電源を投入して腕の関節の動作確認や視覚装置のテストなどを行い、正常であることを確認しました。その後、R2 を保管姿勢に戻し、分解して保管バックに収納しました。

R2 が軌道上で実際に腕を伸ばしたのは今回が初めてとなります。今後も引き続

き様々な確認作業を行い、機能に問題ないことが確認されれば、実際の作業に投入される予定です。

Expedition 29 Crew

ISS 滞在 130 日経過

マイケル・フォッサム (コマンダー、NASA)
古川聰 (JAXA)
セルゲイ・ Volkov (ロシア)

Website info

古川宇宙飛行士 ISS 長期滞在ページ

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/
古川宇宙飛行士 Twitter で最新情報をチェック!
http://twitter.com/Astro_Satosh

Pick Up 星出宇宙飛行士の Twitter 始動! http://twitter.com/Aki_Hoshide

2012 年初夏頃から国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在を開始する予定の星出宇宙飛行士の Twitter が、10 月 14 日から始動しました。

星出宇宙飛行士は最初のツイートで「ツイッター、始めました! これから来年のミッションや訓練について、時々つぶやこうと思います。まだ初心者ですが、よろしくお願いいたします m(_ _)m」と皆様へのご挨拶を述べています。

来年度に予定されている ISS 長期滞在ミッションの開始に向け、星出宇宙飛行士は現在 NASA ジョンソン宇宙センター (JSC) を中心として、筑波宇宙センター、ロシアのガガーリン宇宙飛行士訓練センター (GCTC) などで行われる様々な訓練に参加しています。そういう訓練などの最新情報も、星出宇宙飛行士の声で Twitter で伝えていきます。

皆様のフォローと応援をよろしくお願ひいたします!



訓練中の星出宇宙飛行士と Twitter の QR コード (出典: JAXA/NASA)

大西宇宙飛行士は天候の回復を待って NEEMO15 訓練を開始の予定

第15回NASA極限環境ミッション運用(NEEMO15)訓練は、拠点となる海中研究施設「アクエリアス」があるフロリダ州キーラゴ周辺の天候不良により、10月17日からの開始が見送られました。大西宇宙飛行士らは天候の回復を待って訓練を開始する予定です。

大西宇宙飛行士のNEEMO15訓練特設ページでは、「大西宇宙飛行士のNEEMO

日記～海底からここにちは～」を掲載しています。NEEMO15訓練の概要説明や訓練に向けた準備作業の解説に始まり、実際の訓練の様子を大西宇宙飛行士自身によるリポートでお届けしますので、ぜひご覧ください。

Website info

大西宇宙飛行士のNEEMO15訓練特設ページ

<http://iss.jaxa.jp/astro/onishi/neemo15/>



NEEMO15訓練に向けた準備としてダイビング訓練を行う大西宇宙飛行士(中央)
(出典: JAXA/NASA)

今週のきぼう



船内実験室運用開始から **1230** 日経過

MSPRの初期動作確認、マランゴニ対流実験などを引き続き実施

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、10月16日、多目的実験ラック(MSPR)の初期動作確認を行いました。MSPRは、ユーザーが持ち込む小型・汎用的な実験装置に実験用の電力、通信などのリソースを提供する設備です。MSPRの初期動作確認は今後も継続的に行います。

また、流体実験ラックの流体物理実験装置(FPEF)にて、「マランゴニ対流におけるカオス・乱流とその遷移過程」の第4シリーズを引き続き行っています。この実験は、2011年12月頃まで実施する計画です。

「きぼう」船外実験プラットフォームで

は、宇宙環境計測ミッション装置(SEDA-AP)と全天X線監視装置(MAXI)の観測運用が続けられています。

Website info

多目的実験ラック(MSPR)

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/pm/mspr/>

「きぼう」での実験(各実験の詳細はこちら)

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

インフォメーション

JAXAが協力する宇宙教育実験「スペースラボ」実験提案募集中!

JAXAは、YouTubeが募集する国際宇宙ステーション(ISS)での宇宙教育実験「スペースラボ」に協力します。

この「スペースラボ」は14歳から18歳までの世界中の青少年を対象に宇宙空間で行う科学実験を募集し、その評価を競うものです。コンテストで優勝した実験

は、ISSで実際に行われます。

協力の一環として、2012年初夏頃からISS長期滞在を予定している星出彰彦宇宙飛行士がアイデア選考に参加とともに、優勝者の特典である種子島宇宙センターの見学受け入れを予定しています。

応募方法などの詳細についてはホーム

ページをご覧ください。応募締切は12月7日(水)です。JAXAは、日本の皆様からのユニークで宇宙ならではの実験の提案応募を期待しています。

Website info

宇宙教育実験「スペースラボ」実験提案募集中!

http://iss.jaxa.jp/topics/2011/10/youtube_spacelab.html

more information

▶ 「第9回航空機による学生無重力実験コンテスト」参加者募集締切迫る(10月23日(日)まで)

http://iss.jaxa.jp/topics/2011/09/parabolic09_application.html

本コンテストは、学生の皆様から航空機の無重力(微小重力)環境で実施したいアイデアを募集し、選定されたチームが自ら実験装置を製作し、航空機に搭乗して実験を行うものです。提案内容に制限はありません。

本コンテストの詳細や応募方法などについてはホームページをご覧ください。多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

ISS・きぼう ウィークリーニュース 第453号

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本 ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。